ZENSEN
災害NEWS 2022 水害特集
発行日2022年5月

住宅あんしん共済

個人加入随時受付中！
お申し込みは組合経由で！
左記二次元コードから、UAゼンセン共済ホームページへ簡単にアクセスいただけます。また、各共済ページからは、パンフレットもダウンロードいただけます。

激化する水害への対策は 住宅あんしん共済で万全に！

台風シーズンを前に、できる範囲で水害対策を始めましょう！

地震や津波に加え、台風、豪雨、豪雪等、多くの自然災害が起こる日本。
台風による大雨は、短期間・短時間・広範囲にわたり降ることで、河川の氾濫等を引き起こします。

台風の災害例【静岡県・関東・甲信・東北地方等】
令和元年東日本台風（台風第19号）の水害被害額は〝約1兆8,800億円で昭和36年の統計開始以来最大

水害被害額
約1兆8,800億円
【水害被害額上位3県と被害額】

1位	福島県	約6,798億円
2位	栃木県	約2,610億円
3位	宮城県	約2,530億円

出典:国土交通省プレスリリース「令和元年東日本台風の発生した令和元年の水害被害額が統計開始以来最大に　～令和元年の水害被害額（確報値）を公表～」（令和3年3月31日）

令和元年10月12日、大型で強い勢力の令和元年東日本台風（台風第19号）は、伊豆半島に上陸した後、関東地方、東北地方を通過し、死者99人、行方不明3人、家屋の全壊3,081棟、半壊24,998棟、床上浸水12,817棟、床下浸水24,472棟、全国142箇所で堤防が決壊する等、広い範囲に甚大な被害をもたらしました。

▲信濃川水系千曲川の氾濫（長野県長野市）
提供:国土交通省

▶阿武隈川水系阿武隈川の氾濫（福島県郡山市）
提供:国土交通省

台風から身を守るために日ごろから家屋のチェックをしておきましょう！

屋根
瓦やトタンのはがれ、ずれなどをチェック。アンテナの固定も。

外壁・塀
ひび割れ、破損等を点検し、あれば補修しておく。

窓ガラス
窓枠のがたつき、緩み等あれば補強する。

雨どい
継ぎ目のはずれ、塗料の剥がれ等を確認。落ち葉や土砂が詰まっていたら取り除く。

ベランダ
鉢植えや物干しざおなど飛散の危険が高いものは室内へ。

屋外の設置物
プロパンガスのボンベはしっかり固定する。強風で飛ばされたり、浸水で流されたりしそうなものがないか確認する。

地下室・地下駐車場
浸水を防ぐ止水板や土のうを用意しておく。

熱海市の土石流／提供:国土交通省

土砂災害の災害例【静岡県】
熱海土石流災害箇所は〝土砂災害警戒区域※〟に指定されていた

令和3年7月、熱海市逢初川源頭部で発生した土石流は下流の伊豆山地区に甚大な被害をもたらしました。
この伊豆山地区は、全国に約67.7万区域（令和3年3月時点）ある「土砂災害警戒区域※」に指定されていました。
土砂災害のリスクは本当に身近なところに潜んでいます。是非一度、ハザードマップで確認しておきましょう。

※土砂災害警戒区域とは、土石流、地滑り、急傾斜地の崩壊が発生した場合に住民等の生命や身体に危害が生じる恐れがあると認められ、都道府県知事が指定をしている区域を言い、人のいない山の中が指定されているわけではありません。

確認しておこう！ 自宅エリアの「ハザードマップ」で危険度を知る

土砂災害の被害を軽減するには、普段からの情報収集が大切です。危険箇所・区域を確認し、災害に備えて避難経路や避難場所について確認しておきましょう。自宅エリアの風水害危険度を知るためには、ハザードマップが役立ちます。

ハザードマップ（国土交通省提供）
https://disaportal.gsi.go.jp/

■重ねるハザードマップは、災害リスク情報や防災に役立つ情報を全国どこでも重ねて閲覧できるWeb地図サイト
■わがまちハザードマップは、市町村が作成したハザードマップを見つけやすくまとめたリンク集

確認しておこう！ 土砂災害の前兆現象

土砂災害の前には、しばしば次のような現象が起こります。前兆現象を確認したら、早めの避難をしましょう。
静岡県公式HPより

土石流
- 山鳴りがする
- 急に川の水が濁り流木が混ざる
- 雨が降り続いているのに川の水位が下がる。

崖崩れ
- がけに亀裂ができる
- がけから水が流れ出している
- がけから小石がパラパラと落ちる

地滑り
- 地面にひび割れができる
- 斜面から水がふきだす
- 沢の水や井戸水が濁る

災害NEWS 2022 水害特集

発行日：2022年5月

住宅あんしん共済

個人加入随時受付中！
お申し込みは組合経由で！
左記二次元コードから、UAゼンセン共済ホームページへ簡単にアクセスいただけます。また、各共済ページからは、パンフレットもダウンロードいただけます。

災害の頻発化、激甚化により、近年は、毎年国内のどこかで大規模な水害が発生しています！

近年、大量に降った雨により、山やがけが崩れ、土石流となる土砂災害も数多く発生しており、その犠牲者は自然災害の死者数の中で大きな割合を占めるようになってきました。日ごろから風水雪凍害に対して備えておくことはますます重要になってきています。

集中豪雨の災害例【福岡県】
全国で唯一の5年連続〝大雨特別警報〟発表

平成29年の九州北部豪雨以降、平成30年7月豪雨、令和元年7月、8月の大雨、令和2年7月豪雨、そして令和3年8月の大雨と、5年連続で豪雨・大雨災害に見舞われ、全国で唯一5年連続の「大雨特別警報」が発表されました。

筑後川の氾濫／提供:国土地理院

確認しておこう！ 大雨特別警報発表時には、すでに災害が発生している可能性大

大雨特別警報は、台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合に、特に警戒すべき事項を標題に明示して「大雨特別警報（土砂災害）」、「大雨特別警報（浸水害）」または「大雨特別警報（土砂災害、浸水害）」のように発表します。避難指示に相当する気象状況の次元をはるかに超えるような現象がターゲットとなります。

確認しておこう！ 集中豪雨と局地的大雨から身を守るには

狭い範囲に短い時間で強い雨を降らせる局地的大雨（ゲリラ豪雨）や集中豪雨は人の命に関わる事例も多いと言えます。

集中豪雨・局地的大雨の危険性

- 河川や下水管等が数分～数十分の短時間で危険な水位になることも
- 地下街や地下駐車場は地上の水が流れ込む危険性が
- 注意報や警報が出ない雨でも災害が発生するケースも
- 現地点で強い雨が降っていなくても離れた場所の雨が影響することも
- 運転中の局地的大雨による道路の冠水に注意

人吉市内の洪水／提供:国土交通省

河川の氾濫の災害例【熊本県】
人吉くまがわ鉄道〝1年5カ月ぶりに運転再開〟

令和3年11月に、令和2年7月豪雨※の被害以来1年5カ月ぶりに人吉くまがわ鉄道の運転が再開されました。復興にはそれなりの時間がかかります。復興のための時間短縮はできませんが、復興のための経済的負担は事前準備ができます。

※この令和2年7月豪雨は、全国のアメダスで観測した降水量の総和で、1982年以降の旬ごとで最大だった平成30年7月豪雨（西日本豪雨）を超え、1時間50mm以上の降水が発生した回数で1982年以降最多だった令和元年東日本台風を超えるなど、雨量の記録でことごとく過去の豪雨を上回りました。

確認しておこう！ 河川の防災情報

河川の氾濫は、大雨により支流の川が本流に流れ込むことで河川の流量が急激に増加して、堤防が決壊したり河川の水が堤防を越えたりすることで起こります。一旦河川が氾濫すると住宅浸水や倒壊等の被害が広範囲に及びます。日ごろから気象情報等をこまめに確認し、いざというときの避難に役立てましょう。

川の防災情報（国土交通省提供）

https://www.river.go.jp/index

- ■身近な「雨の状況」「川の水位と危険性」「川の予警報」などをリアルタイムで知らせるウェブサイト。
- ■大雨時の河川の氾濫の危険性などを知ることができる。

Q 水害時の「床下浸水」被害に保険は適用されるの？

A 民間の火災保険の水害補償の範囲

❶ 保険金額（再調達価格）の30%以上の損害
❷「床上浸水」または、地盤面から45cmを超えて浸水

床下浸水の保障はありません。

住宅あんしん共済は、床下浸水にも
しっかり備えられます！

民間の火災保険	住宅あんしん共済
床下浸水保障 なし ×	床下浸水保障 あり ◎

水害時の公的支援だけでなく自助努力として住宅あんしん共済で水害に備えましょう。

住宅あんしん共済［基本+特約］

※個人で最高50口加入の場合の保障内容

床上浸水	床下浸水
750万円	64万円

- マイホームをお持ちの方も、これから購入の方も、そして賃貸の方も、住まいのリスク傾向を把握し、今一度、水害保障の必要性を考えましょう。
- 現在ご加入の火災保険について、水害補償は確保されているのか、最大補償額はいくらなのかもあわせて確認しましょう。

水害保障は住宅あんしん共済で万全に

○基本部分30口、自然災害特約30口に加入していた場合
○台風や集中豪雨等の水害で自宅が水没し全壊した。

お支払いする給付金
風水雪凍害 全壊 **2,550万円**
【内訳】基本部分から…450万円/自然災害特約部分から…2,100万円